

「 もつこととあること 」

人間には、いろいろのものをたくさん持ちたいという欲求がある。財産も住まいも、着物も、指輪も、趣味も……。人間はある程度持つことはもちろん必要であり、それで快適な思いに満たされるが「持つ」ことに対して「ある」ことの意義をも考えるべきではないだろうか。物を「もつ」ことで、果たしてその人が作られるだろうか。その人がどう「ある」かによって、自分が作られているのではないだろうか。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

待雪草(スノードロップ)の白い雫のような可愛らしい花が咲き始めました。寒い時期に芽を出し早春に花を付けることから、春の始まりを告げる存在として親しまれてきました。美しさや喜び、感動を与えてくれ心を豊かにしてくれます。厳しく寒い冬にはしっかりと根を張り暖かな春を待ちながら、咲くべき時に備え自分の内なる力を育てていきたいと憧れます。

私たちは、様々な体験をし行動することで新しい自分に気付いたり、自分らしい在りかたに気付くことができます。どんなことに心が動いたのか、どんなことが譲れないのか、自分自身の現状を知り、心に問いかけ気持ちを大切にすることが必要です。失敗して自信を失った時や困難に直面した時ほど、自分はもうありたいのかを考え行動することで目指す目標や生き方に近づいていきます。そして、何があっても自分を愛し、信じてくれる人がいることで自己肯定力が高まり、自分で考える力、選択する力も付いていくのだと思います。

子どもたちが自らの気持ちを大切に、その子らしく可能性を広げ続けられるよう、一人ひとりに寄り添いながら、よりよい保育園作りに尽力してまいります。



クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子  
職員一同

2019年度 年主題

【ことばに満たされて～ひびきあう～】

2019年度 年主題聖句

【その人は流れのほとりに植えられた木。】

詩編 1編 3節

【 2月聖句 】

このように主によってしっかりと立ちなさい。

フィリピの信徒への手紙 4章 1節

【 2月主題 】

「 広がって 」

0歳

- ・寒さの中にも神さまが備えてくださる春を感じる
- ・保育者や友だちと模倣遊びを楽しむ
- ・手や指を十分に使って遊びが広がって行く
- ・保育者とのことばのやりとりを楽しむ

1、2歳

- ・自然を通して神さまの御業を知る
- ・全身を動かし、手や指を十分に使って遊ぶ
- ・異年齢の子どもたちに関心をもつ



## 2月の予定表

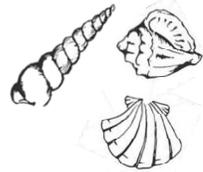
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 建国記念の日	12	13	14	15	16
17 身体測定	18	19	20	21 避難訓練	22	23 天皇誕生日
25 振替休日	26 誕生日会	27	28	29 クレッシュ通信	30	

◎2月17日～2月22日には作品展を行います。一年を通して『食育』をテーマに活動を行って来ました。  
是非ご覧になって下さい。

### 【 お願いとお知らせ 】

- ・外で活動する際に薄手の上着の持参を宜しくお願い致します。
- ・爪が伸びていると友だちやを引っ掻いてしまったり、折れてしまったり怪我の原因となりますので、毎朝確認を宜しくお願い致します。

### 0歳児 mer(海) 組の子どもたちの姿～

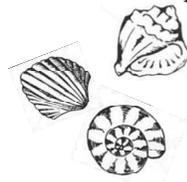


寒さがまた一段と増す時期となりましたが、園には毎日子どもたちの元気な笑い声が溢れています。

絵本や手遊びの中で「頭」や「手」など体の部位も分かるようになり「あし」「タッチ」と言葉を発しながら触れるようになりました。絵本にも、より興味を示し「なあに」「これは？」と繰り返し指さし、聞いた言葉を同じように言おうと声を出すことが多くなりました。特に、果物は子どもたちに大人気で手を伸ばしては美味しそうに食べる仕草はとても微笑ましいです。

新入園児は、初めは寂しくて泣いてしまうこともありましたが、ピアノの演奏や歌が始まると、リズムに合わせて手足を動かしたり身体を揺らす様子が見られます。また、保育者との関わりの中で、触れたりくすぐられたりとても喜び声を出して笑う姿もあります。信頼関係を築き、安心して過ごすことが出来るよう努めていきたいと思っています。

新しい友達や小さい友達が泣いていると顔を覗きこみ頭を撫でてあげる姿も見られます。その優しい心を大切にしながら、一人ひとりの心に寄り添い人と関わる喜びや楽しみが味わえるようにしていきたいと思っています。



### 1歳児 terre(大地)組の子どもたちの姿～

まだまだ寒い日が続きますが、園には毎日子どもたちの明るく大きな声が溢れています。元気に登園して来ると、朝の支度を始めます。エプロンやコップ、口拭きタオルをケースから取り出し決められた場所へと出していきます。「出来た！」「終わったよ！」と得意げな表情を浮かべたり、友だちに「ここだよ」と教えている姿も見られます。進級に向け少しずつ準備や身の回りのことに挑戦しています。

給食の準備が始まると手は膝の上に置き待つことも出来るようになりました。また、食べる前には「いただきますするんだよね」など子ども同士で決まりを話している様子も見られます。

一年間を通して『食育』をテーマにし活動を行い、かぼちゃや人参などを作成してきました。苦手で食べることが進まなかった子も「人参さんつくったね」と話をしているとパクッと一口ずつ食べてみようとするようになってきています。無理に食べさせるのではなく自分から食べてみよう！と思えるよう、日々の保育の中で『食』に興味を持てるように、これからも工夫していきたいと思っています。

### 2歳児 ciel(空) 組の子どもたちの姿～

今年は暖冬と言われ、季節外れの暖かな日もありますが、朝夕や日によっての気温差がありますので、体調管理には十分気を付けて過ごしていきたいと思っています。

粘土遊びでは丸めたりちぎったり、へらなど道具を使用し作ることも上手になってきました。「雪だるまだよ」と丸を2つ重ねてみたり「ケーキ」とへらで分けて友だちに「どうぞ」とあげる様子も見られます。イメージを湧かせ作り出したり、作ったもので遊びを広げていくことも多くなりました。また、折り紙での一回折りやハサミの一回切りも指先に集中し、慎重に行う姿や「できたよ」と得意げな表情を浮かべています。細かいことも少しずつ経験を積み重ねていくことで出来ることが増え、自信へと繋がってさらに意欲へと繋がっているように感じます。基本的な生活習慣も身に付き、食事や排泄面も自分で出来ることを意欲的に行っています。

2歳児はあと2ヶ月で卒園を迎えます。残りの日々を健康で心豊かに過ごせるよう、また友だちと関わることで、さらに楽しめるような活動をしていきたいと考えています。

